

2010年8月20日

大阪大学のOCW のEDUCOMMONS への移行

竹村治雄 (大阪大学 サイバーメディアセンター)

岸野文郎 (大阪大学 情報科学研究科 招へい教授)

(関西学院大学 理工学部)

大阪大学オープンコースウェア（OCW）

- 2005年5月13日から公開を開始
 - 日本オープンコースウェア連絡会発足と同時
- 現在、公開5年目
- 当初は大阪大学サイバーメディアセンターが、独自にサイト構築と運営を実施
- 大阪大学本部、教育・情報室での議論を経て、2006年1月より、全学規模e-Learning 環境基盤整備事業の一環として、大阪大学CMCがサイトの維持・運営を担当
- 2010年5月サイトのコンテンツ管理システムをeduCommonsへ移行（2年以上前からテストは実施）



大阪大学OCWの現状

- 現在の公開コースは42
- 映像素材は8コースで30本程度存在
 - 動画は様々な形式が存在
- シラバス、講義日程等の情報に加えて以下のいずれかの内容を含む
 - 講義資料（パワーポイントファイル）をPDF化したもの
 - オンライン学習教材（Flash等で作成されたもの）
 - 講義用インタラクティブ教材



本報告の内容

- 大阪大学OCWのコンテンツ管理システムの、独自システムからeduCommonsによるシステムへ移行について報告
- 大阪大学で採用している授業支援システムとの連携の方向についても紹介する。



今までのOUOCW

- LAMP(Linux+Apache+MySQL+PHP) を用いた独自 CMCで運用
- 管理者はWebインタフェースを用いて教材のアップロード等を実施する
- コンテンツのメタデータはデータベースに、教材自体はLinuxのファイルシステム上で管理



オープンソースCMSのメリット・デメリット

○ メリット

- メンテナンスコストの低減
- セキュリティ対策等のノウハウを共有できる
- コミュニティでサポートするので新しい機能の追加も期待できる
- 商用CMSに比べてランニングコストが低い

○ デメリット

- 導入、カスタマイズは外注すると商用CMSと同じ
- コミュニティが活発でないとメンテナンスされない



オープンソースCMSのうちどれを選ぶか？

- 非常に多くの選択肢があるが、以下の点を考慮
 - 教材の公開までのワークフローに対応できること
 - ある程度OpenCourseWareに特化していること
 - コースマネジメントシステム等からの教材のインポート、エクスポートができること
 - メタデータのRSSフィードに対応していること。
- Xoops, Jumra, Zope, Plone, eduCommonsなどを検討し、最終的にeduCommonsを選択



EDUCOMMONSとは

- eduCommonsはユタ州立大学が、ウィリアム・フローラ・ヒューレット財団の支援を得て、オープンソースCMSであるPloneをベースに開発
- OpenCourseWareに特化したCMS
- 現在は3.2.1が最新バージョンで
- ソフトウェアは、GNU General Public Licenseで配布
- ユタ州立大学での開発は終了、コミュニティーベースでのサポートに移行中 (<http://educommons.com>)
- eduCommonsを採用しているOCWサイトは50前後、日本でも京都大学、筑波大学等が採用している



従来のOUOCW

- 限定的にCSSを用いているが、基本的にPHPコードにデザインに関するHTMLタグも埋め込まれており、管理画面からのデザインの変更は出来ない。
- デザインの変更にはPHPスクリプトを書き換える必要があり、メンテナンス性が悪い。

大阪大学 OpenCourseWare

- ENGLISH - ホーム - コースリスト - よくある質問 - リンク - 問合せ先 -

全コースリスト

学部・大学院

歯学部 - 歯学研究科

経済学部 - 経済学研究科

工学部 - 工学研究科

基礎工学部 - 基礎工学研究科

生命機能研究科

人間科学部 - 人間科学研究科

情報科学研究科

国際公共政策研究科

法学部 - 法学研究科

高等司法研究科

言語文化研究科

文学部 - 文学研究科

医学部 - 医学系研究科

薬学部 - 薬学研究科

理学部 - 理学研究科

コミュニケーションデザイン・センター

大学教育実践センター

湯川記念室

外国語学部

サステイナビリティ・デザイン・オンサイト研究センター

OCW CONSORTIUM

JOCW JAPAN OCW CONSORTIUM

大阪大学 Open Courseware パイロットサイトへようこそ

大阪大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をモットーとしており、市民から信頼される判断力、豊かな構想力、さらには異なる文化的背景をもつ人々ときちんとコミュニケーションできる資質を備えた人材を育成するため、「教養」、「デザイン力」および「国際性」の三つを具体的な教育目標に掲げています。また、研究推進のキーワードとして「ネットワーク」と「インターフェイス」を掲げ、多種多様な連携を有効活用して、学際融合的な新学問領域の開拓を推進するとともに、その結果を教育に反映させることを目指しています。今回、国内6大学と連携して、マサチューセッツ工科大学の提唱するOCWに大阪大学で行われている教育および研究活動の資産を公開することは、まさに「知のネットワーク」の構築に参画することであり、それは、「知の交流」の場としての大学の使命であると同時に、社会貢献活動の一環としての当然の責務であると考えています。また、この「知のネットワーク」に可能な限りの教材を公開することは、「デザイン力」、「国際性」という教育目標の実現に大きく資するものと確信しています。

すでに、大阪大学では、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ市、オランダ・グローニンゲン市に海外事務所を開設するとともに、タイ国主要大学へのバイオテクノロジーの講義提供などの遠隔教育プロジェクトを通じて、大阪大学の教育を世界に発信してまいりましたが、日本OCW連絡会への参加を通じて、より多くの人々に大阪大学の教育資産を発信することができ、より一層の貢献が行えるものと確信しております。当初は限られた教材の公開となりますが、持続的に活動を継続することが重要であるとらえ、学内体制の整備等を含めて実施し、充実した内容の発信に努めます。

オープンコースウェアに対する大阪大学の取り組みにご理解をいただき、今後ともご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。

大阪大学 オープンコースウェアは

- 大阪大学の講義資料の電子版です。
- 利用に、いかなる登録も必要としません。
- 大阪大学の単位や学位の授与はありません。

大阪大学 OpenCourseWare ニュース

■ 4月21～24日 2009年 - メキシコ、モンテレーでのOCW 国際会議



第9回オープンコースウェア国際会議がメキシコ、モンテレーで開催されました。世界中から100名以上の参加者がありました。今回のテーマは「コンテンツ、OCWの基盤、そして創造性」でした。日本からは大阪大学と慶応義塾大学が参加しました。会議中、様々なプレゼンテーション、ワークショップが行われました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

■ ロボット演劇



2/10/09 石黒浩教授、平田オリザ教授、黒木一成様(株式会社イーガー)によるビデオが「ロボット演劇「働く私」」に追加されました。

EDUCOMMONS 2.x版 OUOCW

- 2007年から試験的に運用
- CMS画面上のカスタマイズで初代のOUOCWと同様のデザインを実現
- バージョンアップに対応がややこしく、結局公開せず

OSAKA University Open Courseware

高度な検索

ホーム コース

login 登録

日本語

大阪大学オープンコースウェアへようこそ

大阪大学 Open Courseware パイロットサイトへようこそ

大阪大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をモットーとしており、市民から信頼される判断力、豊かな構想力、さらには異なる文化的背景をもつ人々ときちんとコミュニケーションできる資質を備えた人材を育成するため、「教養」、「デザイン力」および「国際性」の三つを具体的な教育目標に掲げています。また、研究推進のキーワードとして「ネットワーク」と「インターフェイス」を掲げ、多種多様な連携を有効活用して、学際融合的な新学問領域の開拓を推進するとともに、その結果を教育に反映させることを目指しています。今回、国内6大学と連携して、マサチューセッツ工科大学の提唱するOCWに大阪大学で行われている教育および研究活動の資産を公開することは、まさに「知のネットワーク」の構築に参画することであり、それは、「知の交流」の場としての大学の使命であると同時に、社会貢献活動の一環としての当然の責務であると考えています。また、この「知のネットワーク」に可能な限りの教材を公開することは、「デザイン力」、「国際性」という教育目標の実現に大きく資するものと確信しています。

すでに、大阪大学では、アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコ市、オランダ・ダローンゲン市に海外事務所を開設するとともに、タイ国主要大学へのパイオテクノロジーの講義提供などの遠隔教育プロジェクトを通じて、大阪大学の教育を世界に発信してまいりましたが、日本OCW連絡会への参加を通じて、より多くの人々に大阪大学の教育資産を発信することができ、より一層の貢献が行えるものと確信しております。当初は限られた教材の公開となりますが、持続的に活動を継続することが重要であると考え、学内体制の整備等を含めて実施し、充実した内容の発信に努めます。

オープンコースウェアに対する大阪大学の取り組みのご理解をいただき、今後ともご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします

大阪大学 オープンコースウェアは

- 大阪大学の講義資料の電子版です。
- 利用に、いかなる登録も必要としません。
- 大阪大学の単位や学位の授与はありません。

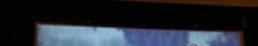
大阪大学 OpenCourseWare ニュース

■第1回アジア地域OCW会議



第1回アジア地域OCW会議が、11月4日から7日まで、韓国ソウルの高麗大学で開催されました。中国、日本、台湾、ベトナム、アメリカから約100名の参加がありました。日本からは、大阪大学、北海道大学、慶応義塾大学、東京工業大学、東洋大学、九州大学が参加しました。「教育の質向上のためのOCW」というメインテーマや他の関連した議題について、話し合われました。[詳細および高麗大学OCWへのリンクはこちらからです。](#)

■4月21～24日2009年 - メキシコ、モンテレーでのOCW 国際会議



第9回オープンコースウェア国際会議がメキシコ、モンテレーで開催されました。世界中から100名以上の参加者が参加しました。今回のテーマは「コンテンツ」、OCWの基盤、そして創造性でした。日本からは大阪大学と慶応義塾大学

EDUCOMMONS 3.x 版

○ デザイン等は外部業者に委託し、大阪大学の公式ホームページ等と統一感を持たせた。

○ 構築は外部業者に協力を依頼

大阪大学 オープンコースウェア Japanese

サイトを検索 検索

ホーム コース一覧 お問い合わせ ログイン

現在位置: ホーム

大阪大学オープンコースウェアへようこそ

大阪大学では、社会から厚い信頼の寄せられる研究者・高度専門職業人の養成を目指し、教養、「デザイン力」および「国際性」の3つの教育方針を貫き、この3つの合い言葉を「阪大スタイル」確立のための軸として特色ある講義を行うべく、教職員一丸となり日々努力をしています。

実際に本学で開講されているこれらの講義とその関連資料を、大阪大学オープンコースウェア(OCW)として2005年よりインターネットで公開しております。この試みは本学の「地域に生き世界に伸びる」というモットーに合致するものであると同時に、「知のネットワーク」の構築に参画することであり、「知の拠点」である大学としての使命を全うすることであると確信しています。

また、このような様々なメディアを利用した先進的な試みは、まさに「明日あるいは」の先にある感覚の体現であり、大学が本来持つ役割を果たすものであります。大阪大学OCWにより、本学の特色を知っていただき、皆様の学習の一助になれば幸いですことを心より願っております。

大阪大学 総長 藤田清一

大阪大学オープンコースウェアとは

大阪大学オープンコースウェアは、大阪大学で行われている授業資料をインターネットで公開し、知的資産を共有し、社会全体で蓄積しようというものです。

- 大阪大学の講義資料の电子版です。
- 利用に、いかなる登録も必要としません。
- 大阪大学の単位や学位の授与はありません。

OCWニュース

第5回OCW国際コンソーシアム

第5回OCW国際コンソーシアムが2010年5月5日から7日まで、ベトナム、ハノイで開催されました。世界中から約200名の参加者がありました。日本からは大阪大学、慶応義塾大学、東京大学、北海道大学、放送大学が参加しました。今回は「オープンコースウェア(OCW)の構築」、「教育プラットフォームとしてのOCWの活用」そして「OCWの継続」について活発な意見交換がされました。詳細はこちらをご覧ください。

2010年5月1日 OCWデザインリニューアルオープン

ご覧のとおり、大阪大学OCWは5月1日より、ウェブデザインを一新いたしました。皆さまにとって親しみやすく、そして学習のお役に立てれば幸いです。今後とも宜しくお願致します。

講義資料の追加・更新

2010年6月29日 宮本陽一准教授による第2回講義資料が、「[理論言語学研究A\(2010年度\)](#)」に追加されました。

2010年6月24日 湯浅邦弘教授による講義ビデオと配布資料が「[大阪大学の歴史](#)」に追加されました。

2010年6月22日 高杉英一副学長による第1回講義ビデオと「<知>の流動体」ビデオが「[大阪大学の歴史](#)」に追加されました。

2010年6月3日 宮本陽一准教授による第1回講義資料および関連資料が、「[理論言語学研究A\(2010年度\)](#)」に追加されました。

2010年5月19日 山下典孝教授による第1回講義資料および関連資料が、「[商法応用](#)」に追加されました。

Copyright 2010. 寄稿する作者による。引用元。この作品は次のライセンスによります: [Creative Commons License](#)

ナビゲーション
ホーム
コース一覧
お問い合わせ

最新情報
OCWニュース
更新情報

ショートカット
サイトマップ
サイトポリシー

大阪大学 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
© 2010 OSAKA UNIVERSITY.

EDUCOMMONS 3.x 版 オーサリング画面

- 管理者としてログインすることで、編集に関するタグ等が表示される。
- 基本的にはPloneのよるオーサリングと同等の編集が行える。
- コースビルダーを用いることで、コースの登録が容易にできる。

ホーム コース一覧 お問い合わせ admin (Manager) ログアウト

現在位置: ホーム

コンテンツ ビュー 編集 ルール 共有 履歴 検索/置換

翻訳する... ▼ アクション ▼ 表示 ▼ アイテムを追加 ▼ 状態: 公開されたコンテンツ ▼

コースビルダー

コースを組み立てる

ポートレットを管理

大阪大学オープンコースウェアへようこそ

大阪大学では、社会から厚い信頼の寄せられる研究者・高度専門職業人の養成を目指し、教養、「デザイン力」および「国際性」の3つの教育方針を貫き、この3つの合い言葉を「阪大スタイル」確立のための軸として特色ある講義を行うべく、教職員一丸となり日々努力をしていま

EDUCOMMONS 3.x 版 コースビルダー画面

- 各項目に値を入れることでテンプレートの基づいてコースを登録できる。
- 既に、他のコースマネージメントシステム上にあるパッケージをインポートすることも可能。

現在位置: ホーム

コースを組み立てる

以下のフィールドを使って新しいコースを作ります

部門

次から選択:

(← つ選ぶ)

もし見つからなければ、新しいものを作るために下に名前を入力してください:

タイトル *

コースID

コースID、またはカタログ番号

期間

コースが教えられた期間

テンプレート

次のテンプレートから選ぶ:

- シラバス
- コーススケジュール
- 教授について
- Osaka University Syllabus

IMSファイルインポート

ローカルマシン上にあるIMSパッケージの名前

選択されていません

パッケージタイプ

アップロードされるIMSパッケージの種類

- None
- MIT Content Package
- IMS Content Package
- WebCT Vista Package
- WebCT Content Package
- IMS Common Cartridge
- Blackboard Content Package
- Moodle Backup

EDUCOMMONS 3.x 版 コースの作成

- コースビルダーでテンプレートに基づくコースが作成される。次に、コンテンツを順次追加する。
- コースサマリに作業の進捗が表示される。

The screenshot displays the EDUCOMMONS 3.x interface for course creation. The main content area shows the course title "100123 - サンプルコース, 2010年春学期" and the author "admin". Below the title is a blue-tinted image of Osaka University with the text "Osaka University Open Course Ware". To the right of the image, course details are listed: COURSE TITLE (Professor X, Ph.D.), Department Name, Institution Name, Course Structure (90 Min classes - ONce a week), and a progress bar for "作業中" (In Progress) showing 5 out of 5 units completed. The right sidebar, titled "コースサマリ" (Course Summary), shows progress for "作業中" (5/5), "QA" (0/0), "リリース済み" (0/0), and "公開済" (0/0), with a total of 5 objects. The bottom right corner features a large orange circle.

現在位置: ホーム → 情報科学研究科 → サンプルコース

コンテンツ ビュー 編集 シンジケーション ルール 共有 IMS 検索/

置換 順序 WPインポート

翻訳する... ▼ アクション ▼ テンプレート適用 ▼ 表示 ▼ アイテムを追加 ▼ 状態: 作業中 ▼

100123 - サンプルコース, 2010年春学期

作者: admin — 最終変更 2010年08月20日 07時07分

RSS

Osaka University
Open Course Ware

COURSE TITLE
Professor X, Ph.D.

Department Name
Institution Name

Course Structure: 90 Min
classes - ONce a week

作業中 5

QA 0

リリース済み 0

公開済 0

オブジェクトの合計: 5

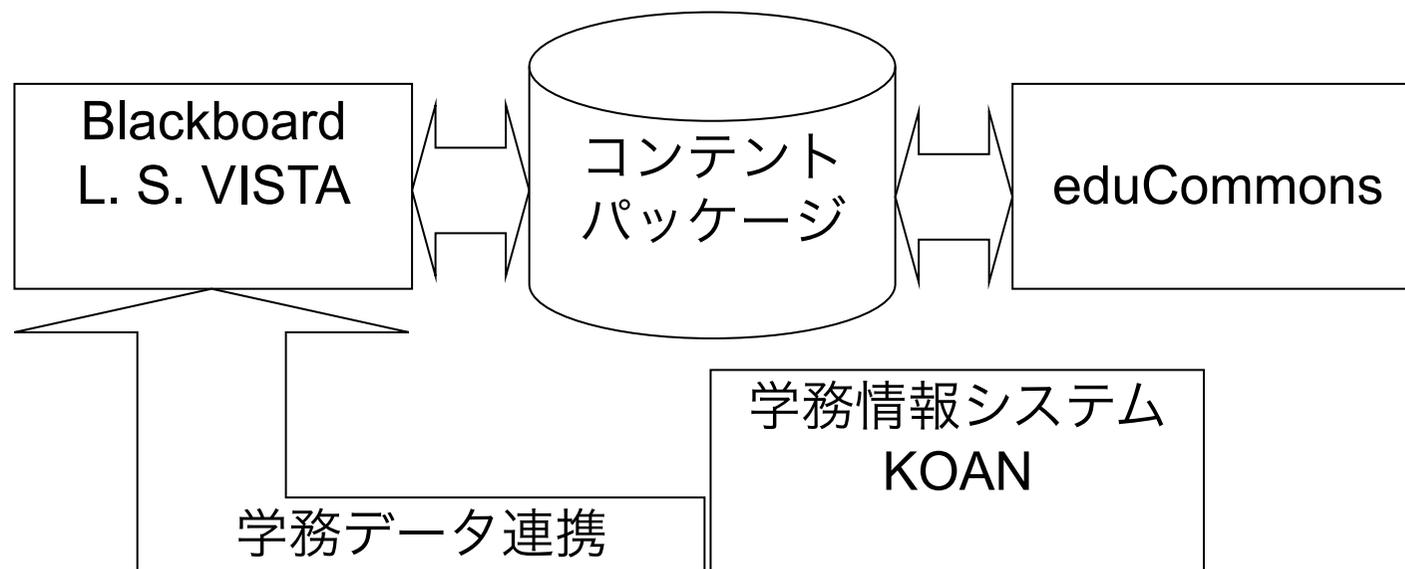
コースビルダー

コースを組み立てる

ポートレットを管理

他システムとの連携の状況

- IMSコンテンツパッケージを用いて、コース管理システムBlackboard Learning System Vistaとの教材の相互連携を現在検証中



まとめ

- 大阪大学OCWのサイトを独自CMSからオープンソースCMSへの移行について報告した。
- 今後、eduCommons の機能を活かした他システムとの連携等を考えている。
- 国内のeduCommonsを利用する他大学とも連携を期待したい。

謝辞

- 移行にご協力いただいた（株）CMSコミュニケーションズに感謝します。



引き続きCOW教材を増やすことを検討

- 全学的な呼びかけ
 - 全学に講義提供の依頼をしてもあまり集まらない
 - 個別に依頼するとうまくいく場合もある
- 公開できる素材を増やす
 - 動画コンテンツを今後増やす方向で検討中
 - echo360（最新コンテンツ：大阪大学の歴史）
 - 講義映像の収録環境の構築
 - CMS上に教材を集めてくる
 - STSによる教材作成支援

